


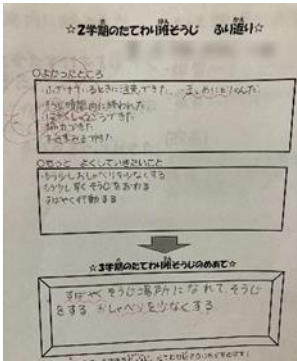



令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組 概要報告

< 宇土市立網津小学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<ul style="list-style-type: none"> 前年度の活動を振り返り、今年度の環境委員会で令和3年度の「網津小環境ISO宣言」を作成した。全校児童への周知と意識づけを行うために、給食時間に内容を放送した。今年度の環境委員会の年間目標にふれ、今年度は特に掃除に力を入れようということを確認した。 「網津小環境ISO宣言」のポスターを環境委員の児童で作成し、各教室に掲示して意識を高めるようにした。 ペットボトルのふたの回収を呼び掛けた。
行動	   	<ul style="list-style-type: none"> 4月は学級掃除期間として、ほうきの使い方やぞうきんのかけ方など、基本的な掃除の仕方について各学級で学んだ（各教室に、「<u>そうじの仕方</u>」を掲示）。5月からは6年生のリーダーシップのもと、縦割り班掃除を行った。掃除の終わりに振り返りの活動を設定し、「掃除おあしす運動」（「お」は時間内におわる、「あ」は後片付けをきちんとする、「し」は静かに一生懸命にする、「す」は隅々まできれいにする）の項目に基づいて反省を行った。11月には、縦割り班の班長にアンケートをとって、各掃除場所での「そうじ名人」を選んでもらい、全校児童に紹介をした。12月には、「そうじでいいところ見つけリレー」で、掃除中の友だちの良さを見つけて伝え合う活動を取り入れながら、進んで学校をきれいにする児童の姿を目指した。 毎週火曜日は「ごみ出し日」として、各教室から持ってきた可燃ごみを環境委員会がまとめて収集場所へ持って行く活動をしている。集める時に、ごみの中にリサイクルできる紙などが入っている時は、次回からは再生紙入れに入れるよう環境委員会の児童が声掛けをする様子が見られた。ごみをまとめることで、ごみ袋を多用しないようにしている。 資源を大切にする活動として、各教室や職員室に「再生紙入れ」を設置している。環境委員会が集め、業者に回収をしてもらっている。 各学年で、花壇に花を植えたり、野菜を育てたりした。また、毎週水曜日の朝活動では、全校児童で校庭の草

	  	<p>取りをしている。学年で場所を割り振り、黙々と草を取る児童の様子が見られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の活動の前や雨の日の朝活動の時間には、5・6年生が自ら進んで、玄関掃除や落ち葉掃きを行っている。 ・無駄な電気を使わないように、環境委員会の活動として、昼間は明るい窓際の照明を消すように呼び掛けたり、トイレや廊下のスイッチの横に、使わない時は消すように呼びかけるポスターを掲示したりした。 ・昨年度に引き続き「職員環境 ISO 宣言」（電気やエアコンの無駄使いをしない、使用済みのポスターや裏紙を積極的に使う、ミสปリントをした紙は裏紙用棚に入れる、校舎の環境美化に努める、トイレ掃除の当番を守る）を掲示して、職員の意識高揚を図った。印刷する時には裏紙を積極的に使用している。 ・年2回、職員による教室、廊下、体育館等のワックスがけを行った。
記録	 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうじについては、毎学期めあてを決めて振り返ることを続けたり、児童の頑張りを児童同士で称賛し合う活動を取り入れたりすることで、児童の取組への意識をさらに高めることができた。掃除時間になるとすぐに準備を始めて、時間いっぱいそうじをする児童の姿がたくさん見られている。 ・環境委員の児童が各教室で出たごみをまとめることで、ごみの量の変化に気付いたり、再生紙入れに入れるよう分別を促したりする様子が見られた。 ・ペットボトルのふたが1月現在で、27.8kgほど集まった（回収ボックス4杯分達成）。地域の人が集めたふたを預かって持参する児童もあり、取組が家庭へも広がったことを感じた。後日、回収業者へ持参する予定である。
見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・2月の委員会活動において、「網津小環境 ISO 宣言」の1年間の取組の振り返りを環境委員会で行う。その結果を児童集会で報告し、次年度の活動につなげていく。

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・環境委員会を中心に啓発や活動を進めたことで、環境 ISO 宣言に掲げた内容への取組の意識化が図れた。・ペットボトルのふたは、活動がより周知されたことにより、昨年度より集まった数が増えた。・縦割り班そうじが定着してきたことにより、児童同士が声をかけ合いながら自分たちの学校を自分たちできれいにしようとする姿がより見られるようになった。	<ul style="list-style-type: none">・感染症予防としての換気をしながらの冬場の暖房使用により、電力に負担をかけている。使用する際の設定温度を現在より低くしたり、同時に稼働し始めないことを徹底したりするなど、学校全体の取組として、省エネルギーについての実践を増やしていくことが必要である。